

荒川区議会議員 「体は細いが、芯は太い。」

# 清水ひろし



民主ゆいの会

からの手紙

第70号

平成30年11月

荒川区議会9月会議は10/17に閉会し、昨年度決算、児童相談所工事契約など21件の議案が可決・認定されました。

今会議中は、本会議、決算委員会及び所属する文教・子育て支援委員会において質疑を行いました。

今日の数字？

**2,040件**

## 東尾久女子医大病院跡地、来年1月に新たな医療機関が決定へ

東尾久にある女子医大病院が足立区へ移転することに伴い、荒川区は跡地に誘致する新たな医療機関を来年1月にも決定する方針です。現在、複数の医療機関から意向が示されています。11月中に公募を開始する予定です。

### —本会議質問—



#### 子育て世代包括支援センターの開設について

**質問** 法改正に伴い、「子育て世代包括支援センター」の設置が努力義務とされ、既に設置をした自治体もある。区はこの事業を始めるのか。

**答弁** 妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援の重要性を認識し、早期に設置していく。

**考え** この仕組みの急所は、①保育士が妊婦全員と面談をし、支援プランを作成すること ②各家庭情報の一元共有化にあります。実施にあたっては、保健師の人員増やシステム構築・管理体制など、詰めなければならない問題があります。目的に沿った事業となるよう、課題解決と工夫が求められます。

#### 道路拡幅後の電柱移設について

**質問** 家建替えのため道路を拡幅したにも関わらず、電柱が移設されないまま道路の真ん中に残っている状況がある。災害対策の面からも、道路拡幅と同時期の移設を関係機関へ要請するよう求める。

**答弁** 電柱管理者に速やかな移設を求めていく。

#### その他の質問事項

- ・ ヒートショック対策について
- ・ 区職員の勤務状況及び改善について



**今日の数字？ 2,040件**：荒川区昨年度の妊娠届出件数。母子手帳を配布した人数。ここ数年2000件を超えている。届出場所の内訳は、保健所685件、区役所戸籍住民課364件、区民事務所（4か所合計）991件。現在、保健師等が対応しているのは、全妊婦の約1/3が届出をしている保健所のみ。

## —委員会質疑—

### SNS を活用した子どものいじめ・悩み相談について

**質問** 子どもが、いじめや悩みなどについて相談し易くするため、電話だけではなく、時代にあわせ SNS を利用した相談窓口を作ることにについて見解を伺う。

**答弁** 相談するハードルを下げる観点は大変重要。是非検討をして参りたい。

### 保育園保護者へのメール配信実施を

**質問** 区立小中学校・幼稚園の保護者へは、メールによる情報配信システムが運用されている。保育園保護者にも同様なシステムを整備するべきではないか。

**答弁** しっかりと検討していく。

### 校庭の照明設置について

**質問** ①スポーツの場として校庭が活用出来るようになる ②学校は災害時に避難所となり、校庭においても作業が必要になる 以上2点から、学校の校庭に照明を設置していくことについて見解を伺う。

**答弁** スポーツ出来る環境が増えることにつながり、防災の視点からも一定の設備は必要と考えている。

**考え** 教育委員会、スポーツ振興課、防災課一体となって設置への取組みを求めたい。

## —区政情報—

### 東尾久・日暮里 各ふれあい館が 2022 年 4 月開館

(仮称) 東尾久ふれあい館

○所在地：東尾久 2-37

○敷地面積：約 870 m<sup>2</sup>

○建物：3 階建て

\* 開設に伴い、近隣の東尾久ひろば館、東尾久三丁目ひろば館は廃止。

(仮称) 日暮里ふれあい館

○所在地：東日暮里 6-28-15

○敷地面積：約 980 m<sup>2</sup>

○建物：4 階建て

\* 開設に伴い、西日暮里二丁目ひろば館は、学童・にこにこスクール専用施設となる。日暮里ひろば館は除却し、跡地については地域児童数の推移を勘案して利用方法を検討していく。



清水啓史 (43 歳 昭和 50 (1975) 年 5/7 日生 卯年 A 型 おうし座)

寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員。  
平成 19 (2007) 年 荒川区議選初出馬初当選。現在、荒川区議会議員 3 期目。

荒川区議会では文教・子育て支援委員会、財政援助団体調査特別委員会に所属。  
区議会会派は「民主ゆいの会」、党籍は国民民主党。家族は妻と娘 (9 歳)。

